

自宅からの野鳥観察

我が家はひたちなか市のほぼ中央にありますが、昔から残っている小さな森が近くにあるため、家の庭とこれに続く近くの農家の畑に野鳥が多く来ます。

私は写真の趣味がありますので、家の2階または屋根裏の3階から望遠レンズでよく撮影します。この間は雉の雄雌が現れて、綺麗な羽をもつ雄が雌の近くによって行き、羽を広げるしぐさをしていたので、これは求愛行動だと察知して、直ちにカメラを用意しました。雄は尾の羽を広げてメスにアタックするのですが、その気のない雌は逃げまくりです。雄の羽の広げ方は尾羽を横に広げてこれを回転させて裏から見せているように感じました。これらの動作が速いので、1000mmの望遠レンズでアングルと焦点をあわせてシャッターを切るとは至難の業です。そのうちにもう一羽の雄が現れ、予想通り、雄同士の争いとなりました。この場合雌はむしろ心配そうに比較的近くから様子を見ています。TVの番組でよくみるような光景が自宅の庭から見られたので本当に感動しました。雄同士の争いのスピードはさらに速く、結局この場面もシャッターが切れませんでした。プロのカメラマンの腕はすごいと思いました。下記は雉の雄と雌が、静に餌を探しているときシャッターを切ったものです。

その後、このような光景は見られなくなりました。雌の鳥は時々餌を啄んでいますが雄の姿は見られません。どうやら我が家の近くに住んでいるのは雌で、雄がどこからやってきたのではないかと思います。恋の行方もわかりません。それにしても雉の雌は保護色というか、畑に居るとき探すのが大変です。じっと畑を見つめて動くものをキャッチします。良く魚を釣るとき餌を動かす様にしますが、このことが良く理解できます。



写真1 雉の雄と思われる



写真2 雉の雌

雉以外にも多くの野鳥が我が家には来ます。鳩や雀、カラスも近くの森に住んでいるようです。その他の鳥は大抵、餌を探す場所で比較的高い木があるとそこにとまって、危険性と餌の確認をしたのち地上に舞い降りて餌を食べます。一度啄んだらあたりを見回し安全を確認した啄むという行動の繰り返しです。この場合我が家の柿木が安全確認の場所として良く使われます。止まる位置は大体同じなので、この部分にカメラの視野をあわせておくと、シャッターは切りやすくなります。下記の2枚の写真はこのようにして撮ったものです。

いろいろの鳥が入れ替わり立ち代り現れますが、写真4の小鳥は人間になついでいて、私が庭に出ても逃げません。むしろ餌をねだっている様にも感じて、かわいく思います。



写真3



写真4

2009年3月14日作成